

ゆずり合いの気持ちについて

苦生学校 二年 大山 千晴

わたしが学校へ行く時、バスの出入りが多い所を通ります。その時バスが止まって、わたしをゆう先してくれませう。その時は、お礼の気持ちをこめておじぎを返します。バスのうんでん手さんは、ゆずり合いの気持ちがあるなと思ひました。

もう一つわたしが気になることがあります。それは、おうだん歩道の前でわたろうとして

いる人がいるのに止まってくれる車がほとんどいないことです。家ぞくにそのことを伝えたら、車はおうだん歩道をわたろうとしている人がいる時は、十回止まらなければいけません。いきまりがあるんだと教えてくれました。わたしは、そのことをはじめて知りました。今まで車が止まってくれないのは、いきなり止まると交通じこがは、生してしまふからだとわたしは思ひていました。まもらなければいけないルールがあるのに、ルールをまもらない

い車が多いことにわたしは、おどろきました。交通ルールをまもらないといじこのかくりつが高くなることと、けがにつながってしまいかのうせいがあると思います。

交通ルールは、じこやけががないようにするためにあるとわたしは思います。ですのでみんなが交通あんぜんのためにならざるルールをまもるべきだと思います。

でも、まずはわたしがルールをまもり学校の行き帰りをあんぜんに行いたいと思います。また、学校でも友だちや先生と交通あんぜんのことをいろいろ話し合いルールの大切さやあんぜんにかんする知しきを学ぶこれからの生活にいかしてゆきたいと思います。